

別府で暴力追放 銃器根絶県民大会 反社勢力排除へ決意

第26回暴力追放・銃器根絶県民大会が23日、別府市上田の湯町の市公会堂であった。暴力追放に取り組む



暴力追放のため約300人が参加した

団体や行政の関係者ら約300人が参加し、反社会的勢力の排除に向けて決意を新たにしました。

県暴力追放運動推進センター（後藤富一郎理事長）の主催。後藤理事長と種田英明県警本部長が「県内の

暴力団員数は減少傾向。壊滅に向け対策の徹底が求められる」とあいさつ。活動に功労があった個人や団体を表彰した。

2007年に佐賀県で起きた事件で、暴力団員から人違いで射殺され、夫を亡くした宮元篤紀^{あつき}さんが講演。「二度と私たちのような悲しい家族が生まれてほしくない」と願った。

被表彰者は次の通り。

【暴力追放活動功労】▽九州ブロック表彰 由布市暴力絶滅対策協議会、土谷信也（豊後高田市）都築員守（竹田市）【暴力追放事業支援功労】▽感謝状 別府競輪場、別府遊技場組合、県建設業協会別府支部、別大興産、杉乃井ホテル&リゾート、ジェイリース、